

## (仮称) 岐阜市未来ビジョン 第3回有識者会議 次第

日時 平成29年10月2日(月) 15:00～17:05(終了予定)  
場所 岐阜市役所 本庁舎 低層部4階 全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置  
～まちをどうかたちづくるべきか」

- 1 開会
- 2 浅井副市長あいさつ
- 3 有識者発言・意見交換  
【まちづくり・地方行政】
  - 木下 庸子氏 (工学院大学建築学部 教授、設計組織 ADH 主宰)  
「魅力あるまちなみづくりにデザインができること」
  - 金澤 成保氏 (大阪産業大学デザイン工学部 教授)  
「誇りある個性と「豊かさ」のある「まちづくり」を」
  - 村木 美貴氏 (千葉大学大学院工学研究院 教授)  
「人口減少社会で考えるべき都市づくりのあり方」
  - 勢一 智子氏 (西南学院大学法学部 教授)  
「都市の価値と品格 -都市の「あるべき姿」と「立ち位置」を考える視点-」
  - 名和田 是彦氏 (法政大学法学部 教授)  
「自治会とまちづくり協議会で地域のつながりの発展を」
- 4 今岡副市長あいさつ
- 5 閉会

### 《配付資料一覧》

- ・次第
- ・有識者名簿
- ・有識者プロフィール等一覧
- ・席次表
- ・有識者発言配付資料  
(事前送付資料)
- ・第3回有識者会議(まちづくり10月2日)の概要
- ・時代に対する基本的認識(共通資料)
- ・まちの行政課題及びポイント①(まちづくり・地方行政分野)
- ・第3回有識者会議(10月2日)資料に関連する基礎データ集

(仮称)岐阜市未来ビジョン 第3回有識者会議

日時 平成29年10月2日(月) 15:00～17:05(終了予定)

場所 岐阜市役所 本庁舎 低層部4階 全員協議会室

会議テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置  
～まちをどうかたちづくるべきか」

## 有識者名簿

(順不同・敬称略)

氏名	役職等
木下 庸子	工学院大学建築学部 教授 設計組織ADH主宰
金澤 成保	大阪産業大学デザイン工学部 教授
村木 美貴	千葉大学大学院工学研究院 教授
勢一 智子	西南学院大学法学部 教授
名和田 是彦	法政大学法学部 教授

### <進行役>

紙田 和代 (ランドブレイン株式会社 執行役員)

※ (仮称) 岐阜市未来ビジョン策定支援業務受託業者

### <岐阜市 出席者>

浅井副市長、今岡副市長

関係部長 (市長公室、財政部、行政部、市民生活部、福祉部、自然共生部、  
環境事業部、都市防災部、消防本部、まちづくり推進部、都市建設部、  
基盤整備部、上下水道事業部、市民参画部)

関係課長 (広報広聴課、交通総合政策課、財政課、行財政改革課、行政課、  
市民生活政策課、福祉政策課、自然共生政策課、環境事業政策課、  
都市防災政策課、消防総務課、まちづくり推進政策課、都市建設政策課、  
基盤整備政策課、上下水道事業政策課、市民参画政策課)

事務局 (企画部長、企画部次長、総合政策課管理監、総合政策課職員)

## (仮称) 岐阜市未来ビジョン 第3回有識者会議

日時 平成29年10月2日(月) 15:00~17:05(終了予定)  
場所 岐阜市役所 本庁舎低層部4階 全員協議会室

テーマ「未来の、日本の地方都市のあるべき姿と立ち位置  
～まちをどうかたちづくるべきか」

## 有識者 プロフィール等一覧

※発言テーマは、当日変更する場合がありますので、あらかじめ御容赦願います。

※発言順に記載

### 【木下 庸子 (きのした ようこ)氏】 工学院大学建築学部 教授、設計組織 ADH 主宰

〔発言テーマ〕 魅力あるまちなみづくりにデザインができること



<プロフィール>

東京都生まれ。1977年スタンフォード大学卒業。1980年ハーバード大学デザイン学部大学院修了。1981~1984年内井昭蔵建築設計事務所に勤務。1987年設計組織 ADH を共同で設立。2005年~2007年 UR 都市機構 都市デザインチーム チームリーダー。現在、国土交通省中央建築審査会委員、川崎市都市景観審議会委員なども務める。主な建築作品に「アパートメント東雲キャナルコート」(2005年)、「真壁伝承館」(2011年)など。『集合住宅をユニットから考える』(新建築社 2006年 共著)、『いえ 団地 まち—公団住宅 設計計画史—』(住まいの図書館出版局 2014年 共著) など著書多数。

### 【金澤 成保 (かなざわ しげもり)氏】 大阪産業大学デザイン工学部 教授

〔発言テーマ〕 誇りある個性と「豊かさ」のある「まちづくり」を



<プロフィール>

1951年東京生まれ。京都大学工学部卒業。ベネチア建築大学留学を経て京都大学工学研究科建築学専攻博士前期修了。(株)日建設計入社。ペンシルバニア大学留学を経て1992年コーネル大学 都市・地域計画博士課程修了。同大学 Ph.D.取得。佐賀大学講師・助教授を経て2001年大阪産業大学都市環境学科勤務。2014年から2016年、大阪産業大学学長。専門は都市・地域計画、環境デザイン、都市文化論。佐賀市総合計画審議会部会長、堺市景観審議会委員などを歴任。『風土と都市の環境デザイン』(ふくろう出版 2007年)、『路地研究—もうひとつの都市広場』(鹿島出版会 2013年 共著)、『ウッドファースト! 別冊環 21』(藤原書店 2016年 共著)、佐賀新聞「豊かさを考える」(1992年)のコラムを担当、最近では、十六総合研究所『経済月報 vol.45』に寄稿。

## 【村木 美貴（むらき みき）氏】 千葉大学大学院工学研究院 教授

〔発言テーマ〕人口減少社会で考えるべき都市づくりのあり方



<プロフィール>

1991年日本女子大学大学院家政学研究科住居学専攻修了。横浜国立大学大学院工学研究科博士課程修了。東京工業大学助手、ポートランド州立大学客員研究員を経て、千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻准教授、2013年より同教授。工学博士。専門は都市計画。内閣府環境未来都市評価・調査検討会委員、総務省地方制度調査会委員などを歴任。『持続可能性を求めて－海外都市に学ぶ－』（日本経済評論社 2005年 分担執筆）、『英国都市計画とマスタープラン』（学芸出版社 1998年 共著）、『地方分権時代のまちづくり条例』（学芸出版社 1999年 分担執筆）など著書多数。

## 【勢一 智子（せいいち ともこ）氏】 西南学院大学法学部 教授

〔発言テーマ〕都市の価値と品格－都市の「あるべき姿」と「立ち位置」を考える視点－



<プロフィール>

1993年九州大学法学部卒業。1998年九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。同年に西南学院大学着任、法学部講師、助教授を経て2007年から教授。地方分権改革有識者会議構成員、第31次地方制度調査会委員、総務省これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会委員、総務省新たな広域連携推進事業の委託に関する提案書評価・フォローアップ委員、福岡県行政改革審議会委員などを務める。『環境法のフロンティア』（成文堂 2015年 共著）、『BASIC 公共政策学第6巻 政策実施』（ミネルヴァ書房 2010年 共著）など著書多数。

## 【名和田 是彦（なわた よしひこ）氏】 法政大学法学部 教授

〔発言テーマ〕自治会とまちづくり協議会で地域のつながりの発展を



<プロフィール>

1955年山口生まれ。1978年東京大学法学部卒業。1983年東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。横浜市立大学文理学部、東京都立大学法学部を経て、2005年度より現職。コミュニティと住民参加の実態を研究するとともに、市民活動団体「まちづくりフォーラム港南」代表としてまちづくり活動を実践。総務省新しいコミュニティのあり方に関する研究会座長などを歴任。横浜市地域福祉保健計画策定・推進委員会委員長、横浜市地域まちづくり推進委員会委員長などを務める。『コミュニティの法理論』（創文社 1998年）、『コミュニティの自治』編著（日本評論社 2009年）など著書多数。